

自分ごとと考える機会に

災害体験を風化させず、教訓を防災に生かそうと、「第2回東北被災地語り部フォーラム」が24日、南三陸町の南三陸ホテル観洋で始まった。東日本大震災や阪神大震災の語り部らがそれぞれの被災地の情報を共有し、活動を続けていく意義について意見を交わした。

【新井敦】

「みんなが語り部」と題したパネルディスカッションで、神戸市の「人と防災未来センター」語り部、野村勝さんは「阪神大震災で公助の限界を知った。災害で破滅しないために日ごろから準備をしないといけない。10年、20年、100年かかって、地震、災害に向き合う文化を根付かせたい」と思いを語った。

岩手県宮古市の三陸鉄道旅客営業課長、

南三陸で語り部フォーラム

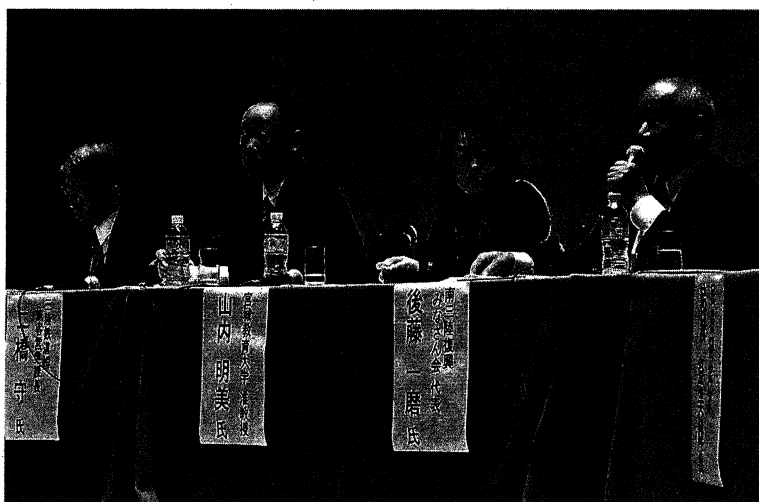
二橋守さんは学校などの教育旅行向けに運行している震災学習列車を紹介。「みなさんの今後の防災に役立てていただくための列車。(被災時に)自分がどう行動するか考えながら話を聞いてもらう。次世代を担う子どもたちのために教訓を伝えることに、大きな意味がある」と話した。

南三陸町出身で、震災後は三陸沿岸の地域づくりを研究している山内明美・宮城教育大

准教授は「つらい経験をして心身が大変な状況で、語れる人と語れない人がいる。風化が進むと、『まだ言っているのか』という風当たりもある。風化が激しくなる中で少数者が語るのは勇気がいることだが、語る人がいなくなっていくと、次の時に継承が困難になる」と指摘した。

この後、三つのテーマで分科会があった。「震災遺構の保存と役割」の会では、兵庫県淡路市の北淡震災記念公園や、岩手県陸前高田市の旧道の駅などの事例が発表された。同市の語り部、釘子明さんは「震災遺構を見て、人ごとではなく、自分

教訓伝える意義 意見交わす

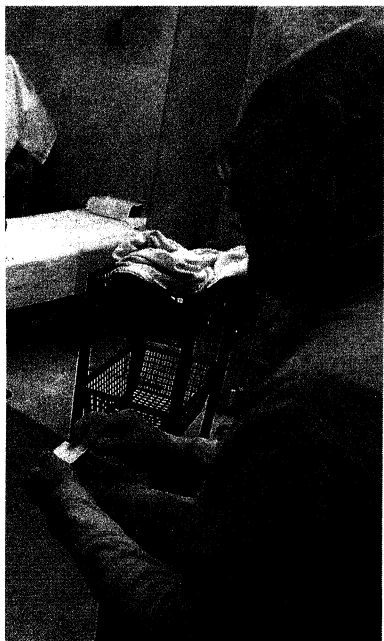


語り部活動について意見を交わすパネリストたち
|| 南三陸町で

と話した。

同フォーラムは南三陸町で「語り部バス」を運行している南三陸ホテル観洋の主催。25日は語り部バスの体験会などがある。

安心感必要



第1原発事故で閉鎖された14年に再開した同病院に着任。京都第二赤十字病院(京都市上京区)勤務時に、阪神大震災(1995年)の被災地で治療に当たった経験から「東北の人の役に立てれば」と単身赴任した。写真:こよみ製

を立ち上げ、「元気がそでなにより。犬の散歩は行ってるか」など患者に語りかけると患者は「入院してからは誰かとながっていられた」と話している。

原発事故により高齢・過疎化が進んだ地域の中心部にある。帰還した住民に必要なデジタルプラス

宮城野区の会社員、岡部克樹さん(26)が約300メートル離れた崖下に滑落したかもしれない、と白石署に通報があった。同署と消防が捜索し、翌24日午前7時ごろに崖下で岡部さんを発見したが、搬送先の病院で死亡が確認された。

同署などによると、岡部さんは友人3人とスキー場に来ており、帰る前に岡部さんの姿が見えなくなった。23日に仙台市の消防ヘリコプターが崖下で岡部さんの服を発見したが、強風のため降下できず、日没のため捜索は23日午後6時に打ち切り、24日早朝から再開した。同署が滑落した状況などについて

天気	インフルエンザ	洗濯	乾燥肌
<p>のち 一時・時々 5ミ以上 5ミ未満</p> <p>↑ 正午の風向き</p> <p>仙台 気温15/2°C 降水確率 10%</p> <p>6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報</p> <p>吉川 気温12/-3°C 降水確率 10%</p> <p>6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報</p> <p>石巻 気温14/3°C 降水確率 10%</p> <p>6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報</p> <p>白石 気温14/1°C 降水確率 10%</p> <p>6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報</p> <p>あすのこよみ 週間予報(仙台)</p> <p>2月26日 旧1月22日 27日 8/1°C</p> <p><仏滅> 小潮 (水) 10%</p>	<p>3 警戒</p> <p>2 注意</p> <p>2 注意</p> <p>2 注意</p>	<p>4 よく乾く</p> <p>4 よく乾く</p> <p>4 よく乾く</p> <p>4 よく乾く</p>	<p>3 警戒</p> <p>3 警戒</p> <p>3 警戒</p> <p>2 注意</p>

天気欄 表示の説明 ■きのうの気温の「-」は、機